

平成25年7月28日 山口・島根の大雨による水害調査結果の概要について(水害研究室)

水害研究室では、氾濫によって生じた堤内地における浸水被害の実態を把握するため、
山口県内の萩市(須佐川及び田万川)と山口市(阿武川)において、
8月5日～6日に浸水深や家屋の被害状況に関する現地調査を行った。

<調査メンバー>

山本主任研究官、大浪研究官

<調査位置図>



<家屋被害の特徴>



家屋構造そのものが破壊されているのは、河川付近にあった家屋のみで、その大半は基礎下部が氾濫流により洗掘を受け、土砂流出により家屋が傾く被害であった。



河川から離れた家屋では、流木等により外壁や建具(窓ガラス等)が損壊していたが、家屋構造そのものは無事であった。



非木造(RC造等)は、浸水被害のみであった。









